

2025 年度学生便覧訂正

2025 年 5 月

①P210 【第 1 表】領域および保育内容の指導法に関する科目

【誤】

Ⅲ. 教育職員免許状取得に関する科目認定一覧

1. 幼稚園

【第 1 表】領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園一種免許状）

科 目 区 分		単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法	
				必修	選択		
領域に関する専門的事項	健康	20	乳幼児と健康	1			
	人間関係		乳幼児と人間関係	1			
	環境		乳幼児と環境	1			
	言葉		乳幼児と言葉	1			
	表現		乳幼児と表現(音楽)	1			
			乳幼児と表現(造形)	1			
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容研究 (健康Ⅰ)	2			
			保育内容研究 (健康Ⅱ)	2			
			保育内容研究 (人間関係)	2			
			保育内容研究 (環境)	2			
保育内容研究 (造形表現)		2					
保育内容研究 (音楽表現)		2					
保育内容研究 (児童文化と言葉)		2					

注 1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
注 2. 「大学が独自に設定する科目」として14単位の修得が必要となるが、同科目は2単位しか開設しないため、
【第 2 表】の科目及び「領域及び保育内容の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>
「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が51単位以上必要

【正】

Ⅲ. 教育職員免許状取得に関する科目認定一覧

1. 幼稚園

【第 1 表】領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園一種免許状）

科 目 区 分		単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法
				必修	選択	
領域に関する専門的事項	健康	20	乳幼児と健康	1		
	人間関係		乳幼児と人間関係	1		
	環境		乳幼児と環境	1		
	言葉		乳幼児と言葉	1		
	表現		乳幼児と表現(音楽)	1		
			乳幼児と表現(造形)	1		
保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容研究 (健康Ⅰ)	2			
		保育内容研究 (健康Ⅱ)	2			
		保育内容研究 (人間関係)	2			
		保育内容研究 (環境)	2			
		保育内容研究 (造形表現)	2			
		保育内容研究 (音楽表現)	2			
		保育内容研究 (児童文化と言葉)	2			

注 1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
注 2. 「大学が独自に設定する科目」として14単位の修得が必要となるが、同科目は4単位しか開設しないため、
【第 2 表】の科目及び「領域及び保育内容の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>
「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が51単位以上必要

②P211 【第2表】「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を除く科目（幼稚園一種免許状）

【誤】 【第2表】「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を除く科目（幼稚園一種免許状）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	単位数	授 業 科 目	単位数 必修 選択	修得方法等
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	保育原理（世界と日本の乳幼児教育） 教育原理（世界と日本の学校教育）	2 2	2単位必修
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論（幼・小）	2	2単位必修
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学（幼・小） 教育経営学（幼・小）	2 2	2単位 選択必修
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		乳幼児心理学 発達心理学（幼・小）	2 2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育入門（幼・小）	1	1単位必修
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		乳幼児教育課程論	2	2単位必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	乳幼児教育内容・方法論 初等教育方法学（情報通信技術の活用含む）	2 2	2単位必修
	・幼児理解の理論及び方法		乳幼児理解と教育相談	2	2単位必修
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		初等学校教育相談	2	
教育実践に関する科目	・教育実習	5	初等教育事前・事後指導 初等教育実地研究	1 4	1単位必修 4単位必修
	・教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	2単位必修
大学が独自に設			子どもの保健と健康	2	
合 計 (免許法施行規則に定める最低修得単位数)		21	合 計 (本学での最低修得単位数)		22

【正】 【第2表】「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を除く科目（幼稚園一種免許状）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	単位数	授 業 科 目	単位数 必修 選択	修得方法等
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	保育原理（世界と日本の乳幼児教育） 教育原理（世界と日本の学校教育）	2 2	2単位必修
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論（幼・小）	2	2単位必修
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学（幼・小） 教育経営学（幼・小）	2 2	2単位 選択必修
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程		乳幼児心理学 発達心理学（幼・小）	2 2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育入門（幼・小）	1	1単位必修
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		乳幼児教育課程論	2	2単位必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	乳幼児教育内容・方法論 初等教育方法学（情報通信技術の活用含む）	2 2	2単位必修
	・幼児理解の理論及び方法		乳幼児理解と教育相談	2	2単位必修
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		初等学校教育相談	2	
教育実践に関する科目	・教育実習	5	初等教育事前・事後指導 初等教育実地研究	1 4	1単位必修 4単位必修
	・教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	2単位必修
大学が独自に設定する科目			子どもの保健と健康 <u>乳幼児と家庭</u> <u>子ども家庭支援論</u>	2 1 1	
合 計 (免許法施行規則に定める最低修得単位数)		21	合 計 (本学での最低修得単位数)		22

③P214 中学校教諭第一種免許状（英語）

【誤】

中学校教諭第一種免許状（英語）						
科 目 区 分		単位数	単位数		履 修 方 法	
			必修	選択		
教科に関する専門的事項	英語学	28	コミュニケーション表現論	2	「教科に関する専門的 事項」及び「各教科の 指導法（情報機器及び 教材の活用を含む。）」 の選択科目から6単位 選択必修	
			音声コミュニケーション論	2		
			言語構造論	2		
			第二言語習得論	2		
	英語文学		越境文学論	2		2
			アメリカ文化論	2		
			イギリス社会文化論			
	英語コミュニケーション		Academic Communication（英）	2		2
			Academic Writing（英）	2		
			English Presentation Skills	2		
	異文化理解		越境文化形成論	2		2
			比較政策論	2		
			越境社会文化論			
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		英語科教育論A	2	6単位選択 必修		
		英語科教育論B	2			
		英語科教育論C	2			
		英語科教育論D	2			
		英語科教育論E	2			

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。

＜必要合計単位数＞

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

中学校教諭第一種免許状（英語）							
科 目 区 分		単位数	開設授業科目		単位数		履 修 方 法
					必修	選択	
教科に 関する 専門的 事項	英語学	28	コミュニケーション表現論		2	「教科に関する専門的 事項」及び「各教科の 指導法（情報機器及び 教材の活用を含む。）」 の選択科目から6単位選択必修	
			音声コミュニケーション論	2			
			言語構造論		2		
			第二言語習得論	2			
	英語文学		越境文学論	2			2
			アメリカ文化論				
			イギリス社会文化論	2			
	英語コミュニケーション		Academic Communication（英）	2			
			Academic Writing（英）	2			
			English Presentation Skills		2		
	異文化理解		越境文化形成論	2			
			比較政策論				2
			越境社会文化論				2
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		英語科教育論A	2		6単位選択 必修		
		英語科教育論B		2			
		英語科教育論C		2			
		英語科教育論D		2			
		英語科教育論E		2			

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。

注2. 「大学が独自に設定する科目」として4単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

＜必要合計単位数＞

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

③P215 高校教諭第一種免許状（英語）

【誤】

高等学校教諭第一種免許状（英語）							
科 目 区 分		単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法	
				必修	選択		
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	英語学	24	コミュニケーション表現論		2	「教科に関する専門 的事項」及び「各教 科の指導法（情報機 器及び教材の活用を 含む。）」の選択科 目から6単位選択必 修	
			音声コミュニケーション論	2			
			言語構造論		2		
			第二言語習得論	2			
	英語文学		越境文学論	2			2
			アメリカ文化論				
			イギリス社会文化論	2			
	英語コミュニケーション		Academic Communication（英）	2			
			Academic Writing（英）	2			
			English Presentation Skills		2		
	異文化理解		越境文化形成論	2			
			比較政策論		2		
		越境社会文化論		2			
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		英語科教育論A	2		2単位選択 必修		
		英語科教育論B		2			
		英語科教育論C		2			
		英語科教育論D		2			
		英語科教育論E		2			

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
 ＜必要合計単位数＞

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

高等学校教諭第一種免許状（英語）						
科 目 区 分		単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法
				必修	選択	
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	英語学	24	コミュニケーション表現論		2	「教科に関する専門 的事項」及び「各教 科の指導法（情報機 器及び教材の活用を 含む。）」の選択科 目から6単位選択必 修
			音声コミュニケーション論	2		
			言語構造論		2	
			第二言語習得論	2		
	英語文学		越境文学論	2		
			アメリカ文化論		2	
			イギリス社会文化論	2		
	英語コミュニケーション		Academic Communication（英）	2		
			Academic Writing（英）	2		
			English Presentation Skills		2	
	異文化理解		越境文化形成論	2		
			比較政策論		2	
			越境社会文化論		2	
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		英語科教育論A	2		2単位選択 必修	
		英語科教育論B		2		
		英語科教育論C		2		
		英語科教育論D		2		
		英語科教育論E		2		

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。

注2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

＜必要合計単位数＞

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

⑤P222 中学校教諭第一種免許状（数学）

【誤】

中学校教諭第一種免許状（数学）						
科目区分		単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
				必修	選択	
教科に関する専門的事項	代 数 学	28	数理科学入門（代数系）	2		「教科に関する専門的事項」の選択科目から10単位選択必修
			計算代数A		2	
	計算代数B			2		
	幾 何 学		数理科学入門（幾何系）	2		
			かたちの数理A		2	
	かたちの数理B			2		
	解 析 学		数理科学入門（解析系）	2		
			環境モデル解析A		2	
	環境モデル解析B			2		
	「確率論，統計学」		数理科学入門（統計系）	2		
数理的問題解決法			2			
コンピュータ	計算機科学入門	2				
	数理モデルプログラミング		2			
	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）					
			数学科教育論A	2		
			数学科教育論B	2		
			数学科教育論C	2		
			数学科教育論D	2		

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
 注2. 「大学が独自に設定する科目」として4単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

＜必要合計単位数＞
 「教科及び教科の指導法に関する科目」，「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」，「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

中学校教諭第一種免許状（数学）			単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法
科 目 区 分					必修	選択	
教科に関する専門的事項	代 数 学	28	数理科学入門（代数系）	2		「教科に関する専門的事項」の選択科目から10単位選択必修	
			計算代数A		2		
	計算代数B			2			
	幾 何 学		数理科学入門（幾何系）	2			
			かたちの数理A		2		
	かたちの数理B			2			
	解 析 学		数理科学入門（解析系）	2			
			環境モデル解析A		2		
「確率論，統計学」	環境モデル解析B		2				
	数理科学入門（統計系）	2					
コンピュータ	<u>データ解析A</u>		<u>2</u>				
	<u>データ解析B</u>		<u>2</u>				
<u>複 合 科 目</u>	計算機科学入門	2					
	数理モデルプログラミング		2				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	<u>数理的問題解決法</u>		<u>2</u>				
	<u>数理科学基礎</u>		<u>2</u>				
	数学科教育論A	2					
	数学科教育論B	2					
	数学科教育論C	2					
	数学科教育論D	2					

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
 注2. 「大学が独自に設定する科目」として4単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

＜必要合計単位数＞
 「教科及び教科の指導法に関する科目」，「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」，「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

⑥P223 高等学校教諭第一種免許状（数学）

【誤】

高等学校教諭第一種免許状（数学）

科目区分		単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
				必修	選択	
教科に関する専門的事項	代数学	24	数理科学入門（代数系） 計算代数A 計算代数B	2	2 2	「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の選択科目から10単位選択必修
	幾何学		数理科学入門（幾何系） かたちの数理A かたちの数理B	2	2 2	
	解析学		数理科学入門（解析系） 環境モデル解析A 環境モデル解析B	2	2 2	
	「確率論，統計学」		数理科学入門（統計系） 数理的問題解決法	2	2	
	コンピュータ		計算機科学入門 数理モデルプログラミング	2	2	
	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		数学科教育論A 数学科教育論B 数学科教育論C 数学科教育論D	2	2 2 2	} 2単位 選択必修

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。

注2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」，「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」，「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

高等学校教諭第一種免許状（数学）

科目区分		単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
				必修	選択	
教科に関する専門的事項	代数学	24	数理科学入門（代数系） 計算代数A 計算代数B	2	2 2	「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の選択科目から10単位選択必修
	幾何学		数理科学入門（幾何系） かたちの数理A かたちの数理B	2	2 2	
	解析学		数理科学入門（解析系） 環境モデル解析A 環境モデル解析B	2	2 2	
	「確率論，統計学」		数理科学入門（統計系） <u>データ解析A</u> <u>データ解析B</u>	2	<u>2</u> <u>2</u>	
	コンピュータ		計算機科学入門 数理モデルプログラミング	2	2	
	<u>複合科目</u>		<u>数理的問題解決法</u> <u>数理科学基礎</u>		<u>2</u> <u>2</u>	
	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		数学科教育論A 数学科教育論B 数学科教育論C 数学科教育論D	2	2 2 2	} 2単位 選択必修

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。

注2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」，「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」，「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

⑦P225 高等学校教諭第一種免許状（家庭）

【誤】

高等学校教諭第一種免許状（家庭）

科 目 区 分	単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法
			必修	選択	
教科に関する専門的事項	24	ライフスタイル論 A ライフスタイル論 B	2 2		「教科に関する専門的事項の選択科目から2単位選択必修」
		衣環境論 A 環境形成科学実験実習 衣環境論 B	2 2	2	
		食環境論 A 食環境論 B 環境形成科学実験 A 環境形成科学実習	2 2 2	2	
		住環境論 都市地域居住環境論	2	2	
		こども環境論	2		
		家庭科教育論 A 家庭科教育論 B 家庭科教育論 C 家庭科教育論 D	2 2	2 2	
		各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）			
		大学が独自に設定する科目		2 1	

- 注 1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
 注 2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は3単位しか開設しないため、残りの9単位は【第 2 表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

高等学校教諭第一種免許状（家庭）

科 目 区 分	単位数	開設授業科目	単位数		履 修 方 法
			必修	選択	
教科に関する専門的事項	24	ライフスタイル論 A ライフスタイル論 B	2 2		「教科に関する専門的事項の選択科目から2単位選択必修」
		衣環境論 A 環境形成科学実験実習 衣環境論 B	2 2	2	
		食環境論 A 食環境論 B 環境形成科学実験 A 環境形成科学実習	2 2 2	2	
		都市地域居住環境論 生活空間計画論	2 2	2	
		こども環境論	2		
		家庭科教育論 A 家庭科教育論 B 家庭科教育論 C 家庭科教育論 D	2 2	2 2	
		各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）			
		大学が独自に設定する科目		2 1	

- 注 1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
 注 2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は3単位しか開設しないため、残りの9単位は【第 2 表】の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要